

平和が大好き、憲法9条が大好き

2009年4月7日

第13号

生協労連

電話 03(3408)0067

qyg03057@nifty.com

生協労連・憲法闘争ニュース

第2回憲法闘争交流会 IN 佐世保報告

憲法九条を守り、東アジアから平和の声を 伝えようと全国から76名がどう

4月4日～5日、長崎県佐世保市において生協労連第2回憲法闘争交流会が行われ、全国から17単組76人が集まりました。北朝鮮のミサイル騒ぎでイージス艦の2隻が佐世保港から日本海に出航中する中での開催となりました。



海から陸から佐世保港調査、83%は米軍が占領

4日はあいにくの雨の中、14時に新みなとターミナルに集合。海上からの基地調査をおこなうため、船にのり、日本平和委員会理事の山下千秋さんより説明を受けなが湾内を1周しました。佐世保港は「巨大補給基地」「直接出撃基地」「日米共同作戦基地」という3つの特徴を持ち、弾薬庫の拡大をすすめていること、横浜港の2.5倍、神戸港の4倍の広さを有しながら、海域の83%を米軍が占領している状況など説明いただきました。その後、2台のバスに分乗し、山下さんと佐世保平和委員会の安田さんの案内で、引揚げ記念館、釜基地、針生米軍住宅などを見学。さいごに佐世保港を一望できる弓張岳展望台にむかいました。降り続けていた雨があがり、軍艦が浮かぶ佐世保港を「生活感がない港」と山下さんは説明。日米地位協定で日本なのに米軍に占領されている実態、日本の米軍兵の豊かなくらしぶりは思いやり予算として私たちの税金が使われて実態に怒



りがこみあげてきます。北朝鮮の脅威を強調し軍事費を増大するような論調にまどわされず、平和的な解決を求めていくことが重要です。

夜の交流会では、ピースフラッグコンテストを行い、13枚の旗がエントリー。厳正な投票の結果、一位にエフコープ労組、2位にコープネット労組が選ばれました。小森陽一賞は「商品化できるのでは」という小森さんの評価で書記長の鈴木蔵人さんに、地元の佐世保賞は「家族に語り継ぐ」という視点からひろしまの植永光則さんが選ばれ、それぞれに長崎土産の賞品がおくられました。(次号で詳細)

=2日目、小森陽一さんの講演で開会=

九条をいかし、核兵器廃絶への展望を!



二日目は「危機の中でこそ九条の思想を」と題し小森陽一さんの講演でスタートしました。今おこっている経済危機の意味すること、九条をめぐる現在の情勢について、九条問題を歴史的に掘り下げ、九条が世界を動かしていることについてわかりやすく解説。さいごに、このままいけば必ず戦争になる、しかし、これまでと違うのは、環境の視点と憲法九条があること。六カ国協議の目的は朝鮮戦争の講和条約を結ぶこと、東アジアに多国間安全保障の可能性が生まれ、日米安保条約の見直し、核兵器廃絶への展望を切り開くと、熱い語り口調でお話いただきました。

【単組の報告】

●みやぎ 遠藤さん

舞台の大きなタペストリをピースフラッグとして持参したみやぎ。組合員と職員で作っている九条の会のとりのくみ、掲示板ニュースを紹介しました。



●かながわ 梅津さん

昨年の開催地かながわからは、横須賀米軍基地の状況について報告。

昨年配備された原子力空母ジョージ・ワシントンが基地内で原子炉の補修工事が行われていた。



●京都 沓脱さん

平和運動部の活動を報告。毎月1回、夜の8時過ぎに集まっている等。会場からのリクエストに応じて「青い空」をタンバリンで合唱



●やまぐち 平島さん

岩国米軍基地の報告。報告するにあたり、あらためて学習した、岩国市民の思いを感じ、今後は運動にかかわっていききたいと決意表明。



●エフ 中村さん

3.14 平和活動委員会で行った「筑豊の戦績めぐり」報告。1945.11に英彦山の二又トンネルなどで軍用火薬が大爆発し、220名を超える被害者をだしたが詳細の報道はされず詳細は忘れ去られようとしている。



●おきなわ 陸さん

沖縄の状況を報告。辺野古の問題など引き続き、大きな世論を作っていく。



世界は核廃絶の方向へ

4.5 オバマ米大統領がプラハで核廃絶演説

オバマ大統領がチェコのプラハで「核兵器を使用した唯一の核保有国として、米国には行動すべき道義的責任がある。…米国は核兵器のない世界という、平和と安全を追求することを約束する」と表明。「私が生きている間には実現できない、忍耐と粘り強さが必要、やればできると主張しなければならぬ」と訴えました。世界は核廃絶にむかって大きな一歩をふみだそうとしています。

☆憲法のとりのくみ、平和のとりのくみの情報を生協労連までお寄せください